L字送出システム CELL-FS 送出サーバ

取扱説明書

Ver.1.1.0

株式会社コスミックエンジニアリング

〒191-0065 東京都日野市旭が丘 3-2-11 TEL: 042-586-2933(代表) FAX: 042-584-0314 URL: http://www.cosmic-eng.com/

93-10028-01

使用上の注意

本書の内容は予告なく変更されることがあります。 いかなる目的においても、当社の許可なくこのドキュメントの一部または全部の複製、変更および配 布を行うことはできません。 このドキュメントに記載された内容によって発生し得る障害に対して、当社は一切その責任を負いま

このトキュメントに記載された内容によって発生し侍る障害に対して、当社は一切その貢任を負いま せん。

商標

Microsoft、Windows、Windows Server は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Intel、Xeon は Intel Corporationの米国およびその他の国における商標です。

その他、このドキュメントに記載された会社名および製品名は、各社の登録商標または商標の場合 があります。

Copyright © 2016 Cosmic Engineering Inc., All rights reserved.

2

| 1.1.本ドキュメントの内容 6 1.2.機能概要 6 1.3.システム構成 6 1.4.インストール 7 2.操作方法 8 2.1.起動 8 2.2.終了 8 3.オブション設定 9 ガブション設定 9 ガブション設定 9 適常放送中に BGM を出力する 10 BGM の着星を変更する 11 BGM の着てタイミングを変更する 12 緊急放送の有効期限を変更する 13 緊急放送の有効期限を変更する 14 家急放送の有効期限を変更する 13 取合の有効期限を変更する 14 取合の有効期限を変更する 13 取合加当期除を変更する 14 取合加当期除を変更する 14 取合加当期除を変更する 14 取合の自動除を変更する 15 ログの自動削除を変更する 20 フォルダを確認する 21 オブションを確認する 21 オブション設定を初期状態に戻す 22 レダ・90HDSD なりの期状態に戻す 23 設定変更をサービスまたはアブリケーションに反映する 24 メニテンブレート編集 29 スクロール範囲を変更する 29 スクロール範囲を変更する 29 スク | 1. | 概要 | | . 6 |
|---|----|------------|------------------------------|-----|
| 1.2. 機能概要 | 1. | 1. | 本ドキュメントの内容 | . 6 |
| 1.3. システム構成 6 1.4. インストール 7 2. 操作方法 8 2.1. 起勧 8 2.2. 終了 8 3. オブション設定 9 オブション設定 9 ガブション設定 9 通常放送中に BGM を出力する 10 BGM の音量を変更する 11 BGM の着量を変更する 12 緊急放送の有効期後を変更する 13 緊急放送の有効期後を変更する 14 緊急放送の有効期快修変更する 13 ログの出カレベルを変更する 14 緊急放送の有効期快修変更する 20 フオルダを変更する 14 取合の自動時除を変更する 20 フオルダを変更する 14 取合の自動削除を変更する 20 フオルダを変更する 20 フォルダを変更する 20 フオルダを変更する 21 オブション設定を初期状態に戻す 23 設定変更をサービスまたはアブリケーションに反映する 24 4. 送出テンブレート編集 26 テンブレート編集の学の見を変更する 27 スクロール進度を変更する 27 スクロール進度を変更する 27 スクロール進度を変更する 27 スクロール進度を変更する 27 スクロール進度を変更する <td>1.</td> <td>2.</td> <td>機能概要</td> <td>. 6</td> | 1. | 2. | 機能概要 | . 6 |
| 1.4. インストール | 1. | 3. | システム構成 | . 6 |
| 2. 操作方法 8 2.1 起動 8 2.2 終了 8 3. オブション設定 9 ガブション設定やいしを起動する 9 通常放送中に BGM を出力する 10 BGM の音量を変更する 11 BGM の後でタイミングを変更する 12 緊急放送の有効期限を変更する 13 緊急放送の有効期限を変更する 13 緊急放送の有効期限を変更する 13 緊急放送の有効期限を変更する 14 緊急放送の有効期限を変更する 13 緊急放送の自動制除を変更する 13 緊急放送の自動制除を変更する 14 緊急放送の自動制除を変更する 19 ログの自動削除を変更する 20 パージョンを確認する 21 オブション設定を初期状態に戻す 22 LM-90H0/SD を初期状態に戻す 23 設定変更をサービスまたはアブリケーションに反映する 24 4. 送出テンブレート編集 26 デンブレートの編集 27 スクロール範囲を変更する 27 スクロール範囲を変更する 29 スクロール範囲を変更する 29 スクロール範囲を変更する 27 スクロール範囲を変更する 29 スクロール範囲を変更する 33 デレディンボーマスのたど出を行う 33 アレディンボーズでテロップルンディンドンボーズでテロップルンジン <td>1.</td> <td>4.</td> <td>インストール</td> <td>. 7</td> | 1. | 4. | インストール | . 7 |
| 2.1. 起動 8 2.2. 終了 8 3. オブション設定 9 オブション設定 9 通常放送中に BGM を出力する 10 BGM の着量を変更する 11 BGM の終了タイミングを変更する 12 緊急放送の有効期限を変更する 13 緊急放送の有効期限を変更する 13 緊急放送の自動削除を変更する 14 Pグの出力レベルを変更する 15 Dグの出力レベルを変更する 16 Dグの出力レベルを変更する 17 Pグの自動削除を変更する 19 Dグの出力レベルを変更する 20 パージョンを確認する 21 オブション設定を初期状態に戻す 22 LM-90HD/SD を初期状態に戻す 22 LM-90HD/SD を初期状態に戻す 23 設定変更をサービスまたはアブリケーションに反映する 24 4. 送出テンブレートの編集 26 テンブレートの編集の 26 デレブレーン酸量を変更する 27 スクロール範囲を変更する 27 スクロールを起動する 26 文アスタイルを変更する 27 スクロールシボーズでテロッブのテスト送出を行う 31 スーディオのテスト送出を行う 33 デロッブの位置を指定してテスト送出を行う 33 「レディンボーディオのテスト送出を行う 37 ログイン | 2. | 操作 | ■方法 | . 8 |
| 2.2. 終了 8 3. オブション設定 9 オブション設定ツールを起動する 9 通常放送中に BGM を出力する 10 BGM の音量を変更する 11 BCM の終了タイミングを変更する 12 緊急放送をスクロールの最後で停止する 13 緊急放送のシングルを出力する 14 緊急放送のシングルをLM-90HD/SD から出力する 18 ログの出力レベルを変更する 19 ログの自動削除を変更する 20 フォルダを変更する 21 北京の比麦のシングルをとM-90HD/SD から出力する 18 ログの自動削除を変更する 20 フォルダを変更する 20 フォルダを変更する 20 フォルダを変更する 21 M-90HD/SD を初期状態に戻す 22 LM-90HD/SD を初期状態に戻す 23 設定変更をサービスまたはアブリケーションに反映する 24 4. 送出テンブレート編集ツールを起動する 26 デンブレート編集ツールを起動する 27 スクロール運を変更する 27 スクロール運を変更する 27 スクロール運を変更する 27 スクロール運を変更する 33 マーバーインボーズでテロップのテスト送出を行う 33 スーパーインボーズでテロップのテスト送出を行う 33 アロブの位置を指定してテルト送してテレきはを行う 37 ログイン 37 | 2. | 1. | 起動 | . 8 |
| 3. オブション設定 9 オブション設定ツールを起動する 9 通常放送中に BGM を出力する 10 BGM の約 音量を変更する 11 BGM の終了タイミングを変更する 12 緊急放送なスクロールの最後で停止する 13 緊急放送のジングルを出力する 14 緊急放送のジングルを出かする 14 緊急放送のジングルを出からな 18 ログの出力レベルを変更する 19 ログの自動削除を変更する 20 フォルダを変更する 20 フォルダを変更する 20 フォルダを変更する 21 オブション設定を初期状態に戻す 22 LM-90HD/SD を初期状態に戻す 22 LM-90HD/SD を初期状態に戻す 23 設定変更をサービスまたはアブリケーションに反映する 24 4. 送出テンブレート編集 26 テンプレート編集 26 テンプレート編集 26 テンプレート編集 29 スクロール連定を変更する 29 スクロール範囲を変更する 30 テムドインボーズでテロップのテスト送出を行う 33 ズーディグのテスト送出を行う 33 スーパー・インボーズでテロップのテスト送出を行う 33 テレディのの設定 37 ロディンパーシンデント設定(映きせる 36 5.1. 接続 36 5.2. OS の | 2. | 2. | 終了 | . 8 |
| オブション設定ツールを起動する 9 通常放送中に BGM を出力する 10 BGM の音量を変更する 11 BGM の終了タイミングを変更する 12 緊急放送の有効期限を変更する 13 緊急放送の方効期限を変更する 13 緊急放送の方効期限を変更する 13 緊急放送のがングルをLM-90HD/SD から出力する 14 取念放送のす効期限を変更する 19 ログの出力レベルを変更する 20 フォルダを変更する 20 フィルダを変更する 20 フォルダを変更する 20 フィージを確認する 21 オブション設定を初期状態に戻す 22 LM-90HD/SD を初期状態に戻す 22 LM-90HD/SD を初期状態に戻す 23 設定変更をサービスまたはアプリケーションに反映する 24 4. 送出テンブレート編集 デンブレート編集 26 デンブレート編集 27 スクロール準度を変更する 27 スクロール速度を変更する 29 スクロール速度を変更する 33 テレディインボーズでテロップのテスト送出を行う 33 テロップの位置を指定してテスト送出を行う 33 プレディンボーズ・オンシン設定(映像ら成装置を使用しない場合) 34 5.1 接続 36 5.2 OS の設定 37 ログイン 37 <td>3.</td> <td>オブ</td> <td>。ション設定</td> <td>. 9</td> | 3. | オブ | 。ション設定 | . 9 |
| 通常放送中にBGMを出力する | | | オプション設定ツールを起動する | . 9 |
| BGM の音量を変更する 11 BGM の終てタイミングを変更する 12 緊急放送をスクロールの最後で停止する 13 緊急放送の有効期限を変更する 13 緊急放送の有効期限を変更する 14 緊急放送の有効期限を変更する 14 緊急放送の有効期限を変更する 14 ワグの出力レベルを変更する 19 ログの出力レベルを変更する 20 フォルダを変更する 21 オブション設定を初期状態に戻す 22 LM-90HD/SD を初期状態に戻す 23 設定変更をサービスまたはアブリケーションに反映する 24 4. 送出テンブレートの編集 26 テンブレートの編集 26 テンブレートの編集 27 スクロールを変更する 27 スクロール範囲を変更する 30 テストメニレを定め更する 30 テムブレートの編集 26 アンブレート編集ツールを起動する 27 スクロール範囲を変更する 30 テムドニレモディン 31 スーパーインポーズでテロップのテスト送出を行う 33 テロップの位置を指定してテスト送出を行う 33 デロップの位置を指定してテスト送出を行う 36 5.1 接続 36 5.2 OS の設定 37 Dダイ | | | 通常放送中に BGM を出力する | 10 |
| BGM の終了タイミングを変更する 12 緊急放送の有効期限を変更する 13 緊急放送同始時にジングルを出力する 14 緊急放送開始時にジングルを出力する 14 緊急放送開始時にジングルを出力する 14 緊急放送同かりにを改更する 19 ログの出力レベルを変更する 19 ログの自動削除を変更する 20 フォルダを変更する 20 フォルダを変更する 20 フォルダを変更する 20 パージョンを確認する 21 オブション設定を初期状態に戻す 22 LM-90HD/SD を初期状態に戻す 22 LM-90HD/SD を初期状態に戻す 23 設定変更をサービスまたはアプリケーションに反映する 24 4. 送出テンプレート編集ツールを起動する 26 デンプレート編集ツールを起動する 27 スクロール運度を変更する 27 スクロール範囲を変更する 27 スクロール範囲を変更する 30 マスパレーシャーズでテロップのテスト送出を行う 31 スーパーインボーズでテロップのテスト送出を行う 33 デレジロシューディオのテスト送出を行う 33 マージの位置を指定してテスト送出を行う 36 5.1 接続 36 5.2 OS の設定 37 ログイン 37 37 ログイシ 37 37 <td></td> <td></td> <td>BGM の音量を変更する</td> <td>11</td> | | | BGM の音量を変更する | 11 |
| 緊急放送の有効期限を変更する 13 緊急放送の有効期限を変更する 13 緊急放送のジングルを出力する 14 緊急放送のジングルをLM-90HD/SD から出力する 18 ログの出力レベルを変更する 19 ログの自動削除を変更する 20 フォルダを変更する 20 フォルダを変更する 20 パージョン確定を初期状態に戻す 23 設定変更を切してえたはアプリケーションに反映する 24 インション設定を初期状態に戻す 23 設定変更をサービスまたはアプリケーションに反映する 24 インジレートの編集 26 テンブレートの編集 26 テンブレートの編集 26 テンブレートの編集 26 テンブレートの編集 26 テンブレート編集ツールを起動する 27 スクロール準備を変更する 30 テスト送出を行う 31 スーパーインボーズでテロップのテスト送出を行う 31 スーパーインボーズでテロップのテスト送出を行う 33 デレップの位置を指定してテスト送出を行う 33 デレーターのぞく 37 ログのと 37 ログの大力 37 アメディタロシンボンボンボンボンボンボンボンボンボンボンボンボンボンボンボンボンボンボンボ | | | BGM の終了タイミングを変更する | 12 |
| 緊急放送の有効期限を変更する | | | 緊急放送をスクロールの最後で停止する | 13 |
| 緊急放送開始時にジングルを出力する | | | 緊急放送の有効期限を変更する | 13 |
| 緊急放送のジングルを LM-90HD/SD から出力する | | | 緊急放送開始時にジングルを出力する | 14 |
| ログの出カレベルを変更する | | | 緊急放送のジングルを LM-90HD/SD から出力する | 18 |
| ログの自動削除を変更する | | | ログの出力レベルを変更する | 19 |
| フォルダを変更する | | | ログの自動削除を変更する | 20 |
| パージョンを確認する | | | フォルダを変更する | 20 |
| オプション設定を初期状態に戻す 22 LM-90HD/SD を初期状態に戻す 23 設定変更をサービスまたはアプリケーションに反映する 24 4. 送出テンブレートの編集 26 テンプレート編集ツールを起動する 26 アンプレート編集ツールを起動する 26 アンプレートの編集 27 スクロール速度を変更する 29 スクロール範囲を変更する 30 テスト送出を行う 31 スーパーインポーズでテロップのテスト送出を行う 32 オーディオのテスト送出を行う 33 デロップの位置を指定してテスト送出を行う 33 編集内容を送出映像に反映させる 34 5. 初期設定 36 5.2. OS の設定 37 ログイン 37 ログイン 37 レイン 37 レイン 37 ログイン 37 ログイン 37 レイン 37 ログイン 37 レクライアントの設定 40 5.3. オプション設定(映像合成装置を使用しない場合) 42 6. トラブルシューティング 44 7. お問い合わせ 46 4. ハードウエア仕様 47 B. RS-422 ケーブル 48 C. LM-90HD/SD 初期設定 49 | | | バージョンを確認する | 21 |
| LM-90HD/SD を初期状態に戻す 23 設定変更をサービスまたはアプリケーションに反映する 24 4. 送出テンプレートの編集 26 テンプレート編集ツールを起動する 26 文字スタイルを変更する 27 スクロール速度を変更する 29 スクロール範囲を変更する 30 テスト送出を行う 31 スーパーインポーズでテロップのテスト送出を行う 32 オーディオのテスト送出を行う 33 テロップの位置を指定してテスト送出を行う 33 デロップの位置を指定してテスト送出を行う 33 デロップの位置を指定してテスト送出を行う 36 5.1 接続 36 5.2. OS の設定 37 ログイン 37 IP アドレスの設定 40 5.3. オブション設定(映像合成装置を使用しない場合) 42 6. トラブルシューティング 44 7. お問い合わせ 46 A. ハードウエア仕様 47 B. RS-422 ケーブル 48 C. LM-90HD/SD 初期設定 49 | | | オプション設定を初期状態に戻す | 22 |
| 設定変更をサービスまたはアプリケーションに反映する | | | LM-90HD/SDを初期状態に戻す | 23 |
| 4. 送出テンプレートの編集 | | | 設定変更をサービスまたはアプリケーションに反映する | 24 |
| テンプレート編集ツールを起動する 26 文字スタイルを変更する 27 スクロール速度を変更する 29 スクロール範囲を変更する 30 テスト送出を行う 31 スーパーインポーズでテロップのテスト送出を行う 32 オーディオのテスト送出を行う 33 テロップの位置を指定してテスト送出を行う 33 編集内容を送出映像に反映させる 34 5. 初期設定 36 5.1. 接続 36 5.2. OS の設定 37 ログイン 37 IP アドレスの設定 37 NTP クライアントの設定 40 5.3. オプション設定(映像合成装置を使用しない場合) 42 6. トラブルシューティング 44 7. お問い合わせ 46 A. ハードウエア仕様 47 B. RS-422 ケーブル 48 C. LM-90HD/SD 初期設定 49 | 4. | 送出 | コテンプレートの編集 | 26 |
| 文字スタイルを変更する 27 スクロール速度を変更する 29 スクロール範囲を変更する 30 テスト送出を行う 31 スーパーインポーズでテロップのテスト送出を行う 32 オーディオのテスト送出を行う 33 デロップの位置を指定してテスト送出を行う 33 編集内容を送出映像に反映させる 34 5. 初期設定 36 5.1. 接続 36 5.2. OS の設定 37 ログイン 37 ログイン 37 トラブルシの設定 40 5.3. オプション設定(映像合成装置を使用しない場合) 42 6. トラブルシューティング 44 7. お問い合わせ 46 A. ハードウエア仕様 47 B. RS-422 ケーブル 48 C. LM-90HD/SD 初期設定 49 | | | テンプレート編集ツールを起動する | 26 |
| スクロール速度を変更する | | | 文字スタイルを変更する | 27 |
| スクロール範囲を変更する | | | スクロール速度を変更する | 29 |
| テスト送出を行う | | | スクロール範囲を変更する | 30 |
| スーパーインポーズでテロップのテスト送出を行う | | | テスト送出を行う | 31 |
| オーディオのテスト送出を行う | | | スーパーインポーズでテロップのテスト送出を行う | 32 |
| テロップの位置を指定してテスト送出を行う | | | オーディオのテスト送出を行う | 33 |
| 編集内容を送出映像に反映させる | | | テロップの位置を指定してテスト送出を行う | 33 |
| 5. 初期設定 36 5.1. 接続 36 5.2. OS の設定 37 ログイン 37 IP アドレスの設定 37 NTP クライアントの設定 40 5.3. オプション設定(映像合成装置を使用しない場合) 42 6. トラブルシューティング 44 7. お問い合わせ 46 A. ハードウエア仕様 47 B. RS-422 ケーブル 48 C. LM-90HD/SD 初期設定 49 | | | 編集内容を送出映像に反映させる | 34 |
| 5.1. 接続 36 5.2. OS の設定 37 ログイン 37 IP アドレスの設定 37 NTP クライアントの設定 40 5.3. オプション設定(映像合成装置を使用しない場合) 42 6. トラブルシューティング 44 7. お問い合わせ 46 A. ハードウエア仕様 47 B. RS-422 ケーブル 48 C. LM-90HD/SD 初期設定 49 | 5. | 初期 | 設定 | 36 |
| 5.2. OS の設定 37 ログイン | 5. | 1. | 接続 | 36 |
| ログイン | 5. | 2. | OS の設定 | 37 |
| IP アドレスの設定 37 NTP クライアントの設定 40 5.3. オプション設定(映像合成装置を使用しない場合) 42 6. トラブルシューティング 44 7. お問い合わせ 46 A. ハードウエア仕様 47 B. RS-422 ケーブル 48 C. LM-90HD/SD 初期設定 49 | | | ログイン | 37 |
| NTP クライアントの設定 40 5.3. オプション設定(映像合成装置を使用しない場合) 42 6. トラブルシューティング 44 7. お問い合わせ 46 A. ハードウエア仕様 47 B. RS-422 ケーブル 48 C. LM-90HD/SD 初期設定 49 | | | IP アドレスの設定 | 37 |
| 5.3. オプション設定(映像合成装置を使用しない場合) 42 6. トラブルシューティング 44 7. お問い合わせ 46 A. ハードウエア仕様 47 B. RS-422 ケーブル 48 C. LM-90HD/SD 初期設定 49 | | | NTP クライアントの設定 | 40 |
| 6. トラブルシューティング | 5. | 3. | オプション設定(映像合成装置を使用しない場合) | 42 |
| 7. お問い合わせ 46 A. ハードウエア仕様 47 B. RS-422 ケーブル 48 C. LM-90HD/SD 初期設定 49 | 6. | トラ | ブルシューティング | 44 |
| A. ハードウエア仕様 | 7. | お問 | い合わせ | 46 |
| B. RS-422 ケーブル | Α. | <i>∩</i> − | -ドウエア仕様 | 47 |
| C. LM-90HD/SD 初期設定 | В. | RS- | 422 ケーブル | 48 |
| | C. | LM- | 90HD/SD 初期設定 | 49 |

目次

図表一覧

| 図 1.1 CELL-FS システムの構成例 | 6 |
|--|-------------|
| 図 3.1 オプション設定ツールの起動 | 9 |
| 図 3.2 オプション設定ツールの起動画面 | 9 |
| 図 3.3 BGM フォルダ設定 | . 10 |
| 図 3.4 BGM 音量設定 | 11 |
| 図 3.5 BGM 終了タイミングの設定 | 12 |
| 図 3.6 テロップスクロールの停止タイミングの設定 | . 13 |
| 図 3.7 緊急放送の有効期限の設定 | 14 |
| 図 3.8 ジングルの登録(1) | 14 |
| 図 3.9 ジングルの登録(2) | 15 |
| 図 3.10 ジングルの登録(3) | . 15 |
| 図 3.11 ジングルのオーディオファイルの再表示 | 16 |
| 図 3.12 ジングルの削除 | . 16 |
| 図 3.13 ジングルの音量設定 | 17 |
| 四 3 14 1 M-90HD/SD を利用したジングルのマルチプレクス | 18 |
| 図 3.15 ログの出力レベルの設定(番組管理サービスの例) | 19 |
| 図 3.16 ログの白動削除の設定(番組管理) こへの(別) | 20 |
| 図 3.17 バージョン 情報の表示 | 21 |
| 図 2.10 サービッセトバマプリケーションの設定の知知化(1) | . ∠ I ວວ |
| 図 3.16 リーヒへのよびアフリアーションの設定の初期化(1) | . 22 |
| 図 3.19 リーこへわよびアブリケーションの設定の初期化(2) | 22 |
| 図 3.20 サービスわよいアプリケーションの設定の初期化(3) | 22 |
| 図 3.21 LM-90HD/SD の設定の初期化(1) | 23 |
| 図 3.22 LM-90HD/SD の設定の初期化(2) | 23 |
| 図 3.23 LM-90HD/SDの設定の初期化(3) | . 23 |
| 図 3.24 番組管理サービスの設定変更の反映 | 24 |
| 図 3.25 描画サービスの設定変更の反映 | . 25 |
| 図 3.26 番組管理サービスと描画サービスの再起動 | . 25 |
| 図 4.1 テンプレート編集ツールの起動 | . 26 |
| 図 4.2 テンプレート編集ツールの起動画面 | . 26 |
| 図 4.3 テンプレート編集ツールの起動時の警告 | . 26 |
| 図 4.4 送出操作不可のときのテンプレート編集ツールの起動画面 | . 27 |
| 図 4.5 文字スタイルの変更 | . 27 |
| 図 4.6 文字スタイル | 28 |
| 図 4.7 カラーの編集(1) | . 28 |
| 図 4.8 カラーの編集(2) | . 28 |
| 図 4.9 スクロール速度の編集 | 29 |
| 図 4.10 スクロール範囲の制限 | 30 |
| 図 4.11 スクロール範囲の編集 | . 30 |
| 図 4.12 スクロール範囲の属性 | . 31 |
| 図 4.13 テスト送出 | . 31 |
| 図 4.14 スーパーインポーズでのテスト送出 | |
| 図 4.15 オーディオ登録の表示とレベル選択 | |
| 図 4 16 テロップ位置の設定 | 33 |
| 図 4.17 テンプレート変更の保存 | 34 |
| ロ | 34 |
| 23 110 3 / / 32 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 | 25 |
| 図 7.10 田旭市生 7 Cハッサ にあります。 図 5.1 洋田士 バン 中海の な な ま ろ で な あ う う う う う う う う う う う う う う う う う う | 26 |
| 回 5.1 応山ノーハC (5.1) (5. | |
| 図 3.2 还山 9 - ハ 9 按 1 (吹 1 6 市 风 表 里 6 伏 用 し な い 场 百) | . 30 |

93-10028-01

| W | ΕQ | | 27 |
|---|------|------------------|----|
| 凶 | 5.3 | IP アトレスの設定(I) | 31 |
| 义 | 5.4 | IP アドレスの設定(2) | 38 |
| 义 | 5.5 | IP アドレスの設定(3) | 38 |
| 义 | 5.6 | IP アドレスの設定(4) | 39 |
| 义 | 5.7 | IP アドレスの設定(5) | 39 |
| 义 | 5.8 | IP アドレスの設定(6) | 40 |
| 义 | 5.9 | NTP クライアントの設定(1) | 40 |
| 义 | 5.10 | NTP クライアントの設定(2) | 41 |
| 义 | 5.11 | NTP クライアントの設定(3) | 41 |
| 义 | 5.12 | 映像合成装置の無効化(1) | 42 |
| 义 | 5.13 | 映像合成装置の無効化(2) | 42 |
| 义 | 5.14 | - 映像合成装置の無効化(3) | 43 |
| | | | |

| 表 | 3.1 | オーディオファイルフォーマット | . 10 |
|---|-----|---------------------------|------|
| 表 | 3.2 | ログの出力レベル | . 19 |
| 表 | 3.3 | 番組管理サービスのフォルダ | . 20 |
| 表 | 3.4 | 描画サービスのフォルダ | . 21 |
| 表 | 3.5 | テンプレート編集ツールのフォルダ | . 21 |
| 表 | 6.1 | トラブルシューティング(1) | . 44 |
| 表 | 6.2 | トラブルシューティング(2) | . 45 |
| 表 | A.1 | 送出サーバのハードウエア仕様 | . 47 |
| 表 | B.1 | RS-422 ケーブルのピンアサイン | . 48 |
| 表 | C.1 | LM-90HD/SD の初期設定 | . 49 |
| 表 | C.2 | LM-90HD/SD のプリセットに関する初期設定 | . 49 |
| | | | |

用語一覧

CELL-FS システム L 字放送を自動で送出するシステムです。 基本的にコンテンツ管理サーバ、送出サーバおよび映像合成装置 で構成されます。

コンテンツ管理サーバ CELL-FS システムにおいて、番組のコンテンツを管理するための サーバです。 ユーザは Web ブラウザを利用してコンテンツ管理を行います。番

組で使用する画像の登録、通常番組のスケジューリング、緊急番 組の投稿などができます。

送出サーバ CELL-FSシステムにおいて、L字放送の映像を作成するサーバで す。 コンテンツ管理サーバから受信したスケジュールに従って映像を

映像合成装置 CELL-FS システムにおいて、送出サーバからの映像信号と本線 を合成するための機器です。 本システムではビデオトロン社製の LM-90HD/SD を使用します。 送出サーバからの映像をスーパーインポーズしたり、本線を縮小 してL字合成することができます。

通常番組 放送日時がスケジューリングされた番組です。

作成します。

緊急番組 放送日時がスケジューリングされていない番組です。 緊急番組が入稿されると、通常番組に割り込んで即時に放送され ます。

- 番組管理サービス 送出サーバ上で動作するサービスの1つで、コンテンツ管理サー バから受信した番組情報を基に、番組送出の管理を行います。
- 描画サービス 送出サーバ上で動作するサービスの1つで、番組管理サービスからの制御に従い、グラフィックス映像の作成と送出を行います。

オプション設定ツール 送出サーバ上で動作するアプリケーションの1つで、番組管理サー ビス、描画サービスおよびテンプレート編集ツールのオプション設 定を行います。

テンプレート編集ツール 送出サーバ上で動作するアプリケーションの1つで、送出映像のテ ロップの文字スタイルやエフェクトに関する設定を行います。

1. 概要

1.1. 本ドキュメントの内容

本ドキュメントは CELL-FS システムの送出サーバ(以下、送出サーバ)の使い 方について説明します。

1.2. 機能概要

送出サーバは CELL-FS システムのコンテンツ管理サーバ(以下、コンテンツ管理サーバ)と連携して動作します。送出サーバはコンテンツ管理サーバから送られてくる番組情報に従って送出映像を作成します。

送出サーバの主な機能は以下の通りです。

- 指定された日時で送出する通常放送と、通常放送に割り込んで即時送出する緊急放送に対応しています。
- 緊急放送の場合、番組データに含まれる送出時間またはテロップスクロールの繰り返し数に従って送出制御することができます。
- ・緊急放送の停止を受信したとき、現在送出中のテロップを最後までスクロールしてから停止するか、または即時停止するか設定できます。
- ・送出テンプレートを編集することができます。テンプレートの編集ではテロップのフォントやエッジなどの文字スタイル、テロップのスクロール速度などを設定できます。
- 送出開始時に音声を出力することができます。
- ・ 通常放送を送出中に BGM を出力できます。

1.3. システム構成

CELL-FS システムの構成例を以下に示します。コンテンツ管理サーバおよび 映像合成装置の詳細につきましてはそれぞれの取扱説明書を参照してください。



図 1.1 CELL-FS システムの構成例

1.4. インストール

送出サーバは必要なアプリケーションがすべてインストール済みの状態で出荷 されます。

バージョンアップなどの情報につきましてはサポート窓口にてご確認ください。

2. 操作方法

2.1. 起動

送出サーバの電源を入れるだけで映像と音声の送出を開始します。 設定変更が必要な場合のみログインして操作を行います。各種設定方法につ きましては「3オプション設定」および「4送出テンプレートの編集」を参照してください。

2.2. 終了

送出サーバのフロントパネルの電源ボタンを短く押すか、またはログインしてシャットダウンの操作を行います。

3. オプション設定

オプション設定ツールを起動する

オプション設定ツールは、映像送出に関する各種サービスおよびアプリケー ションの設定を編集するためのものです。オプション設定ツールを起動するには デスクトップにある CellConfig アイコンをダブルクリックします。



図 3.1 オプション設定ツールの起動

オプション設定ツールが起動すると以下のウィンドウが表示されます。

| CellConfig | _ □ × |
|--|---------------------|
| ● CellConfig 番組管理サービス 描画サービス テンプレート編集ツール パージョン情報 ● | 開始 停止 再起動 |
| マベで再起動 初期化 | · 保存 |

図 3.2 オプション設定ツールの起動画面

通常放送中に BGM を出力する

BGM フォルダにオーディオファイルを置くと、通常放送中に BGM を送出するこ とができます。オーディオファイルは番組ごとにランダムに並びかえられます。 BGM フォルダはオプション設定ツールの「番組管理サービス」→「オーディオ (通常)」タブの「BGM フォルダ」の項目で設定できます。

| 🖳 CellConfig | - 🗆 X |
|-------------------------------------|-------|
| 番組管理サービス 描画サービス テンプレート編集ツール バージョン情報 | |
| 番組データ受信 オーディオ(通常) オーディオ(緊急) 描画制御 ログ | ı —— |
| BgMフォリメタ D¥cELL-FS¥BgM | 開始 |
| 音量(送出サーバからの出力) | 再起動 |
| 番組終了の 3会 秒前に停止 | |
| すべて再起動 初期化 _ OK キャンセル | |

図 3.3 BGM フォルダ設定

対応しているオーディオファイルのフォーマットは以下の通りです。

| 12 0.1 7 | |
|------------|-----------|
| ファイルフォーマット | WAVE ファイル |
| 拡張子 | .wav |
| 圧縮フォーマット | PCM 非圧縮 |
| 周波数 | 48kHz |
| ビット数 | 16bit |
| チャンネル数 | 2ch(ステレオ) |

表 3.1 オーディオファイルフォーマット



BGM は送出サーバが出力する SDI と AES/EBU に出力 されます。本線の SDI にマルチプレクスするためには別途 マルチプレクサーが必要となりますのでご注意ください。 BGM フォルダにオーディオファイルをコピーすると、コンテンツ管理サーバから 最新の通常番組データを受信したタイミングで反映されます。即時に反映させた い場合には、コンテンツ管理サーバから通常番組データを再送信するか、または 番組管理サービスを再起動してください。番組管理サービスの再起動につきまし ては「設定変更をサービスまたはアプリケーションに反映する」を参照してください。

なお、通常番組放送中は BGM フォルダのオーディオファイルを削除することは できません。通常放送を行っていない時間帯に削除してください。オーディオファ イルの削除が反映されるタイミングは、オーディオファイルを追加した場合と同様 です。

BGM の音量を変更する

通常番組放送中に出力される BGM の音量は、オプション設定ツールの「番組 管理サービス」→「オーディオ(通常)」タブの「音量」の項目で設定します。

| 🖳 CellConfig | | x |
|-------------------------------------|------|---|
| 番組管理サービス 描画サービス テンプレート編集ツール バージョン情報 | | |
| 番組データ受信 オーディオ(顕常) オーディオ(緊急) 描画制御 ログ | | _ |
| BGMフォルダ D¥CELL-FS¥BGM - | 停止 | |
| 音量(送出サー)(からの出力) | 再起動 | |
| 番組終了の 300 秒前に停止 | | |
| すべて再起動 初期化 OK キャンセル | - 保存 | |

図 3.4 BGM 音量設定

変更を反映するには「保存」ボタンを押下し、番組管理サービスを再起動します。 詳細につきましては「設定変更をサービスまたはアプリケーションに反映する」を 参照してください。

BGM の終了タイミングを変更する

通常番組放送中に出力される BGM の終了タイミングは、オプション設定ツー ルの「番組管理サービス」→「オーディオ(通常)」タブの「番組終了...」の項目で設 定します。通常番組の終了時刻を基準にして、ここで指定した時間(秒)だけ遡っ て BGM のフェードアウトを開始します。

| • CellConfig | > | ٢ |
|---|------|---|
| 番組管理サービス 描画サービス テンプレート編集ツール バージョン情報 | | |
| 番組データ受信 オーディオ(通常) オーディオ(緊急) 描画制御 ログ | I | |
| BGMフォルダ | 開始 | |
| U#GELL-FS#BGM | 伊止 | |
| 音量(送出サーバからの出力) | 一件起動 | |
| | | |
| 番組終了の 3 ◆ 秒前に停止 | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| すべて再起動 初期化 OK キャンセル | 保存 | |

図 3.5 BGM 終了タイミングの設定

変更を反映するには「保存」ボタンを押下し、番組管理サービスを再起動します。 詳細につきましては「設定変更をサービスまたはアプリケーションに反映する」を 参照してください。



緊急放送をスクロールの最後で停止する

コンテンツ管理サーバで緊急放送停止の操作を行ったとき、通常はテロップが スクロールしている途中でも即時に停止します。緊急放送停止の操作後、現在の テロップがスクロールし終わったところで停止するにはオプション設定ツールの 「番組管理サービス」→「描画制御」タブを開き、「テロップスクロールの最後で停 止する」をチェックします。



図 3.6 テロップスクロールの停止タイミングの設定

変更を反映するには「保存」ボタンを押下し、番組管理サービスを再起動します。 詳細につきましては「設定変更をサービスまたはアプリケーションに反映する」を 参照してください。

緊急放送の有効期限を変更する

メンテナンスなどのために送出サーバのサービスを停止している間でも、コンテ ンツ管理サーバから番組データが送信されてきます。これらのデータは番組デー タの受信フォルダにファイルとして保存され、次に番組管理サービスが起動したと きに読み込まれます。

緊急放送の番組データも受信フォルダに保存されますが、番組データが読み 込まれない状態で長時間経過すると情報の価値が失われてしまいます。そこで CELL-FS ではある一定時間が経過した緊急放送は破棄する仕組みを持ってい ます。これが緊急放送の有効期限です。

緊急放送の有効期限は、オプション設定ダイアログの「番組管理サービス」→ 「番組データ受信」タブを開き、「緊急放送の有効期限」の項目で設定することが できます。

| 🖳 CellConfig | _ D X |
|---------------------|-----------------------|
| | 開始 停止 再起動 |
| | |
| | |
| マベで再起動 初期化 OK キャンセル | , 保存 |

図 3.7 緊急放送の有効期限の設定

変更を反映するには「保存」ボタンを押下し、番組管理サービスを再起動します。 詳細につきましては「設定変更をサービスまたはアプリケーションに反映する」を 参照してください。

緊急放送開始時にジングルを出力する

CELL-FS では緊急放送の開始時にジングルを出力することができます。ジン グルは緊急放送のレベル(0~9 で示す優先順位で、数字が大きい方が優先度が 高い)ごとに設定することができます。ジングルの設定はオプション設定ツールの 「番組管理サービス」→「オーディオ(緊急)」タブで行います。

まず最初に登録したいレベルを一覧から選択し、「登録…」ボタンを押下しま す。

| CellConfig | |
|---|--|
| Cencomig 番組管理サービス 描画サービス アンブレート編集ツール パージョン指報 番組データ受信 オーディオ(堕常) オーディオ(緊急) 描画制御 ログ レベル ファイルパス 0 1 2 | |
| 3 4 5 6 7 7 8 | |
| 登録… 育脚除 再表示 音量(送出ット)(からの出力) 100 | |
| すべて再起動 初期別と OK キャンセル 保存 | |

図 3.8 ジングルの登録(1)

「ファイルを開く」ダイアログが表示されますので、オーディオファイルを選択して 「開く」ボタンを押下します。ここで指定できるオーディオファイルのフォーマットに つきましては「表 3.1 オーディオファイルフォーマット」を参照してください。

| | | 開く | | | x |
|---|----------------------|-----|----------------|-------------|---------|
| ⓒ 🔄 ▼ ↑ 퉬 « ポリ: | 1−¼(D:) ► Wav | ~ Č | Wavの検索 | | , |
| 整理 ▼ 新しいフォルダー | | | | | |
| 🔲 デスクトップ 🔷 | 名前 | • | 更新日 | 時 | 種類 |
| □ 最近表示した場所 | Dingle01.wav | | 2015/ | 09/11 18:56 | WAV ファ・ |
| | 📄 Jingle02.wav | | 2015/ | 09/11 18:54 | WAV ファイ |
| IIII PC | 🗋 Jingle03.wav | | 2015/ | 09/11 18:56 | WAV ファイ |
| 📕 デスクトップ | | | | | |
| 1ΙΙΙ <t< th=""><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></t<> | | | | | |
| E ピクチャ | | | | | |
| ビデオ | | | | | |
|] ミュージック | | | | | |
| 🊢 ローカル ディスク ((| | | | | |
| 👝 ボリューム (D:) | | | | | |
| 🔐 CD ドライブ (E:) (| | | | | |
| v - | < | | | | > |
| 774113 | Z(N): linglo01 way | | W | * wav) | ~ |
| 27 174 | LICED. Duridieo1.wov | * | | | · · |
| | | | 開<(<u>0</u>) | +v: | ンセル |
| | | | | | |

図 3.9 ジングルの登録(2)

ジングルの登録が完了すると、一覧にオーディオファイルのパス名が表示されます。

| 🖳 CellConfig | _ □ X |
|---|--------------|
| 番組管理サービス 描画サービス テンプレート編集ツール バージョン情報 番組管理サービス 第シブルート編集ツール バージョン情報 | |
| | 開始 停止 |
| 2 | 再起動 |
| 4 5 | |
| 7 | |
| 9 | |
| 音量(送出サー)(からの出力) [100 | |
| | |
| 」 すべて再起動 初期化 OK キャンセル | レー保存 |

図 3.10 ジングルの登録(3)

ジングルを登録した後でオーディオファイルを削除するなど、設定したファイル が存在しない場合にはファイルパスの右側に「!」マークが表示されます。オー ディオファイルの最新の有無をチェックする場合には「再表示」ボタンを押下しま す。

| 🖷 CellConfig | _ 🗆 X |
|-------------------------------------|-------|
| 番組管理サービス 描画サービス テンブレート編集ツール バージョン情報 | |
| 番組データ受信 オーディオ(通常) オーディオ(緊急) 抽画制御 ログ | |
| レベンル ファイルパス | 開始 |
| 0 D¥Wav¥Jingle01.wav 😶 | 停止 |
| 1 | 再起動 |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |
| 6 | |
| 7 | |
| 8 | |
| 9 | |
| 登録 削除 再表示 | |
| 音量(送出サーバからの出力) | |
| | |
| | |
| | |
| ずべて再起動 初期化 OK キャンセル | 保存 |

図 3.11 ジングルのオーディオファイルの再表示

登録したジングルを削除する場合には、削除対象の行を選択して「削除」ボタン を押下します。

| 🖳 CellConfig | _ 🗆 X |
|--|-------|
| 番組管理サービス 描画サービス テンブレート編集ツール バージョン情報 | |
| 番組データ受信 オーディオ(通常) オーディオ(緊急) 描画制御 ログ | 開始 |
| レベル ファイルパス 0 D¥Wav¥ Jingle01.wav | 停止 |
| | 再起動 |
| | |
| 5 | |
| | |
| | |
| 登録 育耶涂 再表示 | |
| 音量(送出サーバが、の出力) | |
| · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | |
| | |
| すべて再起動 初期化_ OK キャンセル | 保存 |

図 3.12 ジングルの削除

また、ジングルの音量は「音量」の項目で調整します。

| • | CellConfig | _ □ | x |
|----|---|-----------------|---|
| 番組 | araght - ビス 描画サ - ビス デンブレート編集 ツール バージョン情報 田デーク受信 オーディオ(3mm) オーディオ(第急) 描画制御 ログ レベル ファイルバス 0 DVWav¥ Jingle01 wav 1 2 3 4 5 6 | 開始 停止 再起動 | |
| | 9 | 」(保存 | 1 |

図 3.13 ジングルの音量設定

変更を反映するには「保存」ボタンを押下し、番組管理サービスを再起動します。 詳細につきましては「設定変更をサービスまたはアプリケーションに反映する」を 参照してください。



LM-90HD/SD を利用すると、緊急放送のジングルを本線のオーディオにマル チプレクスすることができます。まず最初に「緊急放送開始時にジングルを出力す る」を参照して、ジングルに使用するオーディオファイルを登録してください。 次にオプション設定ツールの「描画サービス」→「LM-90HD/SD」タブを開きま す。「ホスト名」の項目に LM-90HD/SD の IP アドレスを設定し、「オーディオ送信 (緊急のみ)」をチェックします。

| Ce | llConfig 📃 🗖 🗙 |
|---|---|
| ● 番組管理サービス 描画サービス テンプレート編集ツール [LM-90HD/SD] ログ | バージョン情報 |
| ✓ 有効 シリアル通信 ボート COM1 ✓ 速度 19200 ブリセット | ↓ bps 再起動 |
| No. (x, y)-(幅,高さ),縮小,拡大 第246,0-(1506,064),30,20 2 (584,0-(1506,064),30,20 3 (0, 0)-(1586,864),30,30 4 (0, 2)-(1586,864),30,30 5 (120)-(1508,064),30,30 5 (120)-(1500,000),30,30 7 (0, 0)-(1500,000),30,30 8 (0, 180)-(1600,000),30,30 | 性 ×定標 384 令 小座標 0 令 幅 1536 令 高さ 864 令 縮小時間 30 令 フレーム 拡大時間 30 テ フレーム |
| LAN ホスト名 192.168.1.1 ロオーディオ送 | 言(緊急のみ) |
| すべて再起動 初期化 | OK キャンセル 保存 |

図 3.14 LM-90HD/SD を利用したジングルのマルチプレクス

変更を反映するには「保存」ボタンを押下し、描画サービスを再起動します。詳 細につきましては「設定変更をサービスまたはアプリケーションに反映する」を参 照してください。

> LM-90HD/SD でジングルを出力する場合、再生時間が 1 分以下のオーディオファイルを指定してください。これは LM-90HD/SD の仕様に依存した制限です。

送出サーバから直接出力する SDI および AES/EBU に は、テロップスクロールが開始するたびにジングルが繰り返 し出力されますが、LM-90HD/SD を利用した場合には緊急 放送開始時の1回だけ出力されます。

ログの出力レベルを変更する

番組管理サービスと描画サービスは処理内容をログファイルに出力します。ロ グに関する設定はそれぞれ「番組管理サービス」→「ログ」タブおよび「描画サー ビス」→「ログ」タブで設定します。

「出カレベル」の項目を変更すると、ログファイルへの出カ内容を変更すること ができます。出カレベルは「エラー」「警告」「情報」および「冗長」から選択します。 「情報」を選択した場合には「エラー」と「警告」を含むなど、低いレベルのログはよ り高いレベルのログをすべて含みます。

| | CellConfig | _ 🗆 X |
|---|---|-------------------|
| ■ 番組管理サービス 抽画サービス テンプ 番組データ受信 オーディオ(通常) オ 出力フォルダ D¥CELL-FS¥Logs 出力レベル 元長 ▼ | U-K編集ツール パージョン情報 オーディオ(繁急) 振画制御 ログ マ 自動削除 保存期間 100 ⊕ 時刻 03 ∨ | 間)6 (停止 再起動 |
| すべて再起動 初期化… | OK キャンセル | 保存 |

図 3.15 ログの出力レベルの設定(番組管理サービスの例)

| 出力レベル | 説明 |
|-------|----------------------------------|
| エラー | 問題が発生したとき、その内容を出力します。 |
| 警告 | 問題を引き起こす可能性があるとき、その内容を 出力します。 |
| 情報 | 処理内容を出力します。 |
| 冗長 | 通信の送受信データなど、詳細な処理内容を出力 します。 |

表 3.2 ログの出力レベル

変更を反映するには「保存」ボタンを押下し、番組管理サービスまたは描画 サービスを再起動します。詳細につきましては「設定変更をサービスまたはアプリ ケーションに反映する」を参照してください。



ログの自動削除を変更する

番組管理サービスと描画サービスは処理内容をログファイルに出力します。ロ グに関する設定はそれぞれ「番組管理サービス」→「ログ」タブおよび「描画サー ビス」→「ログ」タブで設定します。

「自動削除」をチェックすると、保存期間を過ぎたログファイルを自動で削除する ことができます。自動削除の項目では保存期間(1~365 日)と削除する時刻を設 定できます。

| 🖳 CellConfig | _ D X |
|-------------------------------------|--------------|
| 番組管理サービス 描画サービス テンブレート編集ツール バージョン情報 | |
| 番組データ受信 オーディオ(通常) オーディオ(緊急) 描画制御 ログ | |
| 出力フォレシ | 開始 |
| D:¥CELL-FS¥Logs | 停止 |
| 出力レベル 冗長 ✓ 目動削除 (名な期間 1800 日 | 再起動 |
| 時刻 03 V : 00 V | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| 「すべて用起動」 「利用化…」 OK キャンセル | , 1¥存 |

図 3.16 ログの自動削除の設定(番組管理サービスの例)

変更を反映するには「保存」ボタンを押下し、番組管理サービスまたは描画 サービスを再起動します。詳細につきましては「設定変更をサービスまたはアプリ ケーションに反映する」を参照してください。

フォルダを変更する

サービスやアプリケーションにはそれぞれが利用するフォルダがあります。これ らのフォルダはオプション設定ツールで変更することができます。 各フォルダの機能を表 3.3~表 3.5 に示します。

表 3.3 番組管理サービスのフォルダ

| タブ名 | 項目 | 機能 |
|-----------|----------|---|
| 番組データ受信 | 受信フォルダ | コンテンツ管理サーバから番組データ を FTP で受信するフォルダです。 このフォルダを変更する場合には FTP サーバの設定も変更する必要がありま す。 |
| | ローカルフォルダ | 最後に受信した番組データを保管する フォルダです。 |
| オーディオ(通常) | BGM フォルダ | BGM で利用するオーディオファイルを 置くフォルダです。 |
| 描画制御 | ワークフォルダ | 描画サービスヘデータを送信するため に利用するフォルダです。 |
| ログ | 出力フォルダ | ログを出力するフォルダです。 |

| 表 3.4 描画サービスのフォルダ | | |
|-------------------|--------|----------------|
| タブ名 | 項目 | 機能 |
| ログ | 出力フォルダ | ログを出力するフォルダです。 |

| ノ名 | 項日 | 饿毦 |
|----|--------|----------------|
| グ | 出力フォルダ | ログを出力するフォルダです。 |
| | | |

| 表 | 3.5 | テンプレー | -ト編集ツ- | ールのフォルダ | |
|---|-----|-------|--------|---------|--|
|---|-----|-------|--------|---------|--|

| 項目 | 機能 |
|---------|--|
| ワークフォルダ | テスト送出する際、描画サービスヘデータを送信するため に利用するフォルダです。 |

変更を反映するには「保存」ボタンを押下し、該当するサービスまたはアプリ ケーションを再起動します。詳細につきましては「設定変更をサービスまたはアプ リケーションに反映する」を参照してください。

バージョンを確認する

「バージョン情報」タブを開くと、映像送出に関連するサービスおよびアプリケー ションのバージョンを確認できます。

| ファイル | 製品バージョン |
|----------------------------------|-----------|
| Ntv2Native.dll | v1.1.0.12 |
| CellConfig.exe | v1.1.0.12 |
| CellProgramManagementService.exe | v1.1.0.12 |
| CellRenderer dll | v1.1.0.12 |
| CellRenderingService.exe | v1.1.0.12 |
| CellTemplateEditor.exe | v1.1.0.12 |
| | |

図 3.17 バージョン情報の表示

オプション設定ツールで変更した内容を初期状態に戻すには「初期化」ボタン を押下します。

| CellConfig | _ □ × |
|--------------------------------------|--------------|
| 番組管理サービス 描画サービス デンブレート編集ツール バージョン情報 | |
| 番組デー友受信 オーディオ(通常) オーディオ(緊急) 描画制御 ログ | |
| 受信フォルダ | 開始 |
| D.¥CELL-FS¥FtpRoot | 停止 |
| ローカルフォルダ | 再起動 |
| D.¥CELL-FS¥FtpLocal | |
| 緊急放送の有効期限 30 🛟 分 | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| すべて再起動 初期化 OK キャンセノ | し 保存 |
| | |

図 3.18 サービスおよびアプリケーションの設定の初期化(1)

確認ダイアログが表示されますので、「OK」ボタンを押下します。



図 3.19 サービスおよびアプリケーションの設定の初期化(2)

オプション設定ツールの画面に初期値が表示されます。ここで「OK」または「保存」ボタンを押下すると初期値が保存されます。

| | | _ □ | x |
|-------------------------------------|-------|-----|---|
| 番組管理サービス 描画サービス テンプレート編集ツール バージョン情報 | | | |
| 番組データ受信 オーディオ(通常) オーディオ(緊急) 抽画制御 ログ | | | |
| 受信フォルダ | | 開始 | |
| D:#CELL-FS¥FtpRoot | | 停止 | |
| | | 再起動 | |
| | | | |
| 緊急放送の有効期限 30 😌 分 | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | 1 | |
| すべて再起動 初期化 OK 0K | キャンセル | 保存 | |
| | | | |

図 3.20 サービスおよびアプリケーションの設定の初期化(3)

変更を保存した後、設定の変更をサービスまたはアプリケーションに反映させるには再起動が必要です。詳細につきましては「設定変更をサービスまたはアプ リケーションに反映する」を参照してください。

LM-90HD/SD を初期状態に戻す

LM-90HD/SD は CELL-FS システム用に初期設定して出荷されます。 LM-90HD/SD の設定は本体の「MENU」ボタンから変更することができますが、 変更した後で CELL-FS 用の初期設定に戻すことができます。

まず最初にオプション設定ツールの「描画サービス」→「LM-90HD/SD」タブの「LAN」の項目でLM-90HD/SDのIPアドレスを入力し、「初期設定送信…」ボタンを押下します。

| CellConfig | _ 🗆 X |
|---|-------|
| 番組管理サービス 描画サービス テンブレート編集ツール バージョン情報 | |
| LM-90HD/SD ログ | |
| ▲ ▲ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ | 開始 |
| | 停止 |
| ポート COM1 v 速度 19200 v bps | 再起動 |
| 791291 | |
| No. (x, y)-(幅, 高さ), 縮小, 拡大 周性 | |
| (384, 0)→(1536, 864), 30, 30 2 (384, 216)→(1536, 864), 30, 30 1 (9.0) (1536, 864), 30, 30 二 (1536, 153 | |
| 4 (0, 216)-(1536, 864), 30, 30 5 (320, 0)-(1536, 864), 30, 30 5 (320, 0)-(1506, 864), 30, 30 4 (0, 216)-(1506, 864), 30 4 (0, | |
| 6 (320, 180)-(1600, 900), 30, 30 7 (0, 0)-(1600, 900), 30, 30 7 ± 364 ∩ | |
| 8 (0, 180)-(1600, 900), 30, 30 (30) (30, 180)-(1600, 900), 30, 30 (30) (30) (30) (30) (30) (30) (30) (| |
| | |
| | |
| | |
| ホスト名 192.168.1.1 コーディオ送信(緊急のみ) (7期職役定送信) | |
| | |
| | |
| すべて再起動初期化OKOKキャンセ | 2ル 保存 |

図 3.21 LM-90HD/SD の設定の初期化(1)

確認ダイアログが表示されますので「OK」ボタンを押下します。



図 3.22 LM-90HD/SD の設定の初期化(2)

データの送信に成功すると以下のダイアログが表示されます。



図 3.23 LM-90HD/SD の設定の初期化(3)

このあと、LM-90HD/SD 本体で設定ファイルの読み込み操作を行います。 まず最初に本体の「MENU」ボタンを押下し、「COMMAND」→「LOAD CONFIG」を「YES」に設定して「SET」ボタンを押下します。その後、 LM-90HD/SDを再起動します。操作の詳細につきましてはLM-90HD/SDの取扱 説明書を参照してください。

設定変更をサービスまたはアプリケーションに反映する

オプション設定ツールで変更した内容は、関連するサービスまたはアプリケー ションを再起動するまで反映されません。即時に反映させたい場合には、下記の 手順に従って変更した内容に関連するサービスまたはアプリケーションを再起動 させてください。

「番組管理サービス」タブの内容を変更した場合、まず右下にある「保存」ボタン を押下し、次にこのタブの右側にある「再起動」ボタンを押下します。

| • | CellConfig | - • × |
|----|------------------------------------|-------|
| 番組 | 管理サービス 描画サービス テンブレート編集ツール バージョン情報 | |
| 番 | 組データ受信 オーディオ(通常) オーディオ(緊急) 描画制御 ログ | BB*/ |
| | 受信フォルダ D¥CFLI-FS¥EtnBoot | |
| | ローカルフォルダ | 再起動 |
| | D¥CELL-FS¥FtpLocal | |
| | 緊急級送(0)有効期限30 ♀ 分 | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | で再起動 初期化 OK キャンセル | 保存 |
| | | |

図 3.24 番組管理サービスの設定変更の反映



「描画サービス」タブの内容を変更した場合、まず右下にある「保存」ボタンを押 下し、次にこのタブの右側にある「再起動」ボタンを押下します。

| ■ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● | CellConfig ワール バージョン情報 >> bps ■ 「 な症標 384 合 少症標 0 合 「 「 「 」 「 」 」 」 」 」 | 日本 同語 「開始 「開始 「開始 「開始 「開始 |
|--|--|---|
| LAN ホスト名 192.168.1.1 オーディ すべて両起動 約3月11と | 拉大時間 30 ☆ フレーム オ送信(緊急のみ) 初期職定送信 OK キャンセ) | k 保存 |

図 3.25 描画サービスの設定変更の反映



なお、オプション設定ツールの左下にある「すべて再起動」ボタンを押下すると、 番組管理サービスと描画サービスを同時に再起動することができます。

| 🖳 CellConfig | _ 🗆 X |
|--|-------|
| 番組管理サービス 描画サービス テンプレート編集ツール バージョン情報 | |
| 【番組データ受信】オーディオ(通常) オーディオ(緊急) 描画制御 ログ 祭(きつみ) び | 開始 |
| D'¥CELL-FS¥FtpRoot | 停止 |
| ローカルフォルダ D¥CELL-FS¥FtpLocal | 再起動 |
| 緊急放送の有効期限 30 令 分 | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| マベて再起動 初期化 OK キャン | セル 保存 |
| | |

図 3.26 番組管理サービスと描画サービスの再起動

「テンプレート編集ツール」タブの内容を変更した場合には、テンプレート編集 ツールを再起動してください。

4. 送出テンプレートの編集

テンプレート編集ツールを起動する

テンプレート編集ツールは送出映像の文字スタイルやエフェクトに関する設定 を行うためのものです。テンプレート編集ツールを起動するにはデスクトップにあ る CellTemplateEditor アイコンをダブルクリックします。



図 4.1 テンプレート編集ツールの起動



テンプレート編集ツールが起動すると以下のウィンドウが表示されます。

図 4.2 テンプレート編集ツールの起動画面

テンプレート編集ツールには編集した内容をテスト送出する機能があります。ただし、この機能を利用するためには番組管理サービスを停止する必要があります。 番組管理サービスが動作中にテンプレート編集ツールを起動すると、以下のような警告が表示されます。



```
図 4.3 テンプレート編集ツールの起動時の警告
```

警告ダイアログで「OK」ボタンを押下するとテンプレート編集ツールが起動します。送出ボタンはグレー化して操作できませんが、送出テンプレートの編集は可能です。



図 4.4 送出操作不可のときのテンプレート編集ツールの起動画面

文字スタイルを変更する

文字スタイルは画面右側にある「スタイル」タブで編集します。



図 4.5 文字スタイルの変更

「フェース」は文字本体の属性、「エッジ」と「シャドー」は文字装飾の属性を表します。



図 4.6 文字スタイル

カラーを編集する場合には、カラーの右横にあるボタンを押下します。



図 4.7 カラーの編集(1)



カラーの編集ダイアログが表示されますので、設定したいカラーを入力して 「OK」ボタンを押下します。

図 4.8 カラーの編集(2)

変更を反映するにはメニューバーの「ファイル」→「上書き保存」を押下し、番組 管理サービスを再起動します。詳細につきましては「編集内容を送出映像に反映 させる」を参照してください。

スクロール速度を変更する

スクロール速度に関する属性は画面右側にある「エフェクト」タブで編集します。



図 4.9 スクロール速度の編集

「属性」の「速度」でスクロール速度を変更できます。単位は画面を横切るのに 要する時間(秒)で、値を大きくするほどゆっくりスクロールします。

「遅延」には番組が切り替わってからスクロールを開始するまでの時間(秒)、 「間隔」にはスクロールが終わってから次のスクロールを開始するまでの時間 (秒)を指定します。

変更を反映するにはメニューバーの「ファイル」→「上書き保存」を押下し、番組 管理サービスを再起動します。詳細につきましては「編集内容を送出映像に反映 させる」を参照してください。



スクロール範囲を変更する

CELL-FS では画面上のスクロール範囲を設定することができます。背景画像 で表示したい情報と重ならないようにする場合に利用します。



図 4.10 スクロール範囲の制限

スクロール範囲に関する属性は画面右側にある「エフェクト」タブで編集します。



図 4.11 スクロール範囲の編集

属性の「左」および「右」は画面左端から左右のスクロール範囲までの距離(ピ クセル)、「左ぼかし」および「右ぼかし」は左右のぼかし幅(ピクセル)を示します。



図 4.12 スクロール範囲の属性

変更を反映するにはメニューバーの「ファイル」→「上書き保存」を押下し、番組 管理サービスを再起動します。詳細につきましては「編集内容を送出映像に反映 させる」を参照してください。

テスト送出を行う

文字スタイルおよびエフェクトの属性を変更したとき、どのように送出されるか 確認することができます。

テスト送出を行うためには「テキスト」の項目に任意の文字を入力し、「TAKE」 ボタンを押下します。



図 4.13 テスト送出



スーパーインポーズでテロップのテスト送出を行う

「テスト送出」の「L字」のチェックをはずして「TAKE」ボタンを押下すると、本線 にテロップをスーパーインポーズして送出することができます。



図 4.14 スーパーインポーズでのテスト送出

オーディオのテスト送出を行う

オプション設定ツールで緊急放送のオーディオを登録(「緊急放送開始時にジ ングルを出力する」参照)すると、テンプレート編集ツールの「オーディオ」一覧に 「*」マークが表示されます。「*」マークが表示されたレベルを選択して「TAKE」ボタ ンを押下すると、選択したレベルに対応するオーディオファイルが再生されます。

| CellTemplateEditor - D:¥CELL-FS¥Temp | plates¥Template.xml 📃 🗖 🗙 |
|--|--|
| ファイル(E) 表示(⊻) ヘルプ(<u>H</u>) | |
| <u>漢字あいう123</u> | スタイル T.7.20ト フェース フォント フォント MS UI Gothic ・ サイズ 80 @ カラー 不透明度 255 @ サイズ ガラー 不透明度 シラー サイズ サク サイズ ガラー 不透明度 カラー 不透明度 クジ サイズ リウ サイズ ボウ 不透明度 |
| アキスト マレキ オ 漢字あいう123 マレードの「1556, 664), 20, 30, 30 (614, 60) - (1556, 664), 20, 30, 30 (10, 0) - (1558, 664), 20, 30, 30 (10, 0) - (1558, 664), 20, 30, 30 (10, 0) - (1558, 664), 20, 30, 30 (10, 0) - (1558, 664), 20, 30, 30 (10, 0) - (1568, 664), 20, 30, 30 (10, 0) - (1568, 664), 20, 30, 30 (10, 0) - (1560, 900), 30, 30 (10, 0) - (1560, 900), 30, 30 (10, 0) - (1600, 900), 30, 30 (10, 0) - (1600, 900), 30, 30 (10, 0) - (1600, 900), 30, 30 (10, 0) - (1600, 900), 30, 30 (10, 0) - (1600, 900), 30, 30 (10, 0) - (1600, 900), 30, 30 (10, 0) - (1600, 900), 30, 30 (10, 0) - (1600, 900), 30, 30 (10, 0) - (1600, 900), 30, 30 (10, 0) - (1600, 900), 30, 30 (10, 0) - (1600, 900), 30, 30 (10, 0) - (1600, 900), 30, 30 (10, 0) - (1600, 900), 30, 30 (10, 0) - (1600, 900), 30, 30 (10, 0) - (1600, 900), 30, 30 (10, 0) - (1600, 900), 30, 30 (10, 0) - (1600, 900), 30, 30 (10, 0) - (1600, 900), 30, 30 (10, 0) - (1600, 900), 30, 30 (10, 0) - (1600, 900), 30, 30 (10, 0) - (1600, 900), 30, 30 (10, 0) - (1600, 900), 30, 30 (10, 0) - (1600, 900), 30, 30 (10, 0) - (1600, 900), 30 (10, 0) - (1600, 900), 30, 30 (10, 0) - (1600, 900), 30 (10, 0) - (1600, 900), 30 (10, 0) - (1600, 900), 30 (10, 0) | →ディオ ・バーク・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ |

図 4.15 オーディオ登録の表示とレベル選択

テロップの位置を指定してテスト送出を行う

「テロップ位置」の項目で「自動」を選択すると、L 字レイアウトに対するテロップ 位置を自動で設定します。「座標指定」を選択した場合には、指定された座標にテ ロップを表示します。



図 4.16 テロップ位置の設定

編集内容を送出映像に反映させる

テンプレート編集ツールで変更した内容は、番組管理サービス再起動するまで 送出映像に反映されません。即時に反映させたい場合には、下記の手順に従っ て操作してください。

まず最初にメニューバーの「ファイル」→「上書き保存」を押下し、テンプレートの 変更をファイルに保存します。

| 🖳 CellTe | emplateEditor - D:¥CELL-FS¥Template | s¥Template.xml 📃 🗖 🗙 |
|---|--|-----------------------|
| 7ァイル(E) 表示(Y) ヘルプ(H) | | |
| 新規作成(<u>N</u>) Ctrl+N 閱((0) Ctrl+O | | <u>スタイル</u> エフェクト |
| 上書き保存(S) Ctrl+S | | フォント MS UI Gothic 🗸 |
| | | サイズ 80 • |
| | | カラー 不透明度 255 🝨 |
| | | |
| | | サイズ 8 🛊 |
| | | ほかし 4 |
| | | カラー 不透明度 255 🗲 |
| テスト送出 | | * ジャド~ # # 4 7 0 ▲ |
| 2020 | (384, 2)-(1536, 864), 30, 30 (384, 216)-(1536, 864), 30, 30 | |
| | (0, 0)-(1536, 864), 30, 30 (0, 216)-(1536, 864), 30, 30 レベル4 | カラー 不透明度 255 🖕 |
| | (320, 180)-(1600, 900), 30, 30 (320, 180)-(1600, 900), 30, 30 (0, 0)-(1600, 900), 30, 30 | 角度 135 🛊 オフセット 0 ¢ |
| | (0, 180)-(1600, 900), 30, 30 レベルタ | |
| テロップ位置 | エフェクト スクロール | · ▼ 000 4 |
| ・ ・ ・ | | <i>o</i> pa |
| X 30 \$ Y 0 \$ | TAKE CLEAR (ESC) | |
| | | |

図 4.17 テンプレート変更の保存

次にデスクトップにある CellConfig アイコンをダブルクリックししてオプション設 定ダイアログを起動します。



図 4.18 オプション設定ツールの起動

「番組管理サービス」タブの右側にある「再起動」ボタンを押下して番組管理 サービスを再起動します。

| • | CellConfig | - 🗆 X |
|---|--|-----------------------------|
| | CellConfig 番組管理サービス 描画サービス デンブレート編集ツール バージョン情報 番組デー交支信 オーディオ(協常) オーディオ(繁急) 描画制御 ログ 受信フォルダ D¥OELL-FS¥FtpRoot ローカルフォルダ D¥OELL-FS¥FtpLocal 緊急放送の有効期限 30 全 分 | - ロ × 開約6 「マエ 両起動」 |
| | | |
| | すべて再起動 _ 初期化 OK _ キャンセル | 保存 |

図 4.19 番組管理サービスの再起動



5. 初期設定

5.1. 接続

図 5.1 に従って送出サーバと映像合成装置の接続を行います。



映像合成装置(LM-90HD/SD)の本線出力には、エマー ジェンシースルーに対応した ON AIR 1を使用します。詳細 につきましては LM-90HD/SD の取扱説明書を参照してくだ さい。

映像合成装置を使用しない場合(例えば送出サーバが作成するトリキリ映像の み利用する場合など)には、送出サーバの FILL 出力のみ接続します。



図 5.2 送出サーバの接続(映像合成装置を使用しない場合)

5.2. OS の設定

ログイン

送出サーバを最初に起動したとき、以下のユーザ名とパスワードで Windows にログインすることができます。

ユーザ名: Administrator パスワード: cell-fs16



IP アドレスの設定

コンテンツ管理サーバとLAN 経由で通信を行うため、IPアドレスを設定します。 まず最初にコントロールパネルを開き、「ネットワークとインターネット」をクリック します。



図 5.3 IP アドレスの設定(1)



「ネットワークと共有センター」をクリックします。

図 5.4 IP アドレスの設定(2)

「イーサネット」をクリックします。

| 翠 | ネットワークと共有センター |
|---|---|
| 🔄 💿 🔻 🕈 💆 « ネットワーク | とインターネット > ネットワークと共有センター > ひ コントロール パネルの検索 の |
| コントロール パネル ホーム | 基本ネットワーク情報の表示と接続のセットアップ |
| アダプターの設定の変更 | アクティブなネットワークの表示 ――――― |
| 共有の詳細設定の変更 | ネットワーク アクセスの種類・ イキー キャト プライベート ネットワーク 接続: ↓ イーヴネット |
| | ネットワーク設定の変更 |
| | 新しい接続またはネットワークのセットアップ ブロードバンド・ダイヤルアップ、または VPN 接続をセットアップします。あるいは、ルーターまたはアクセス ポイ ントをセットアップします。 問題のトラブルシューティング ネットワークの問題を診断して修復します。または、トラブルシューティングに関する情報を入手します。 |
| 関連項目 Windows ファイアウォール インターネット オプション | |

図 5.5 IP アドレスの設定(3)

「プロパティ」ボタンを押下します。

| Q | イーサネットの状態 | X |
|----------------|--------------------|-----------|
| 全般 | | |
| 接続 一 | | _ |
| IPv4 接続: | インターネット | |
| IPv6 接続: | ネットワーク アクセスなし | |
| メディアの状態: | 有効 | |
| 期間: | 04:28:29 | |
| 速度: | 1.0 Gbps | |
| 詳細(<u>E</u>) | | |
| 動作状況 | | _ |
| | iia — 👽 — de | |
| <i>እና</i> ተኑ: | 15,280,603 662,137 | |
| プロパティ(P) | 参無効にする(D) 参断(G) | |
| | 閉じる(! | <u>C)</u> |

図 5.6 IP アドレスの設定(4)

「インターネットプロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)」を選択して「プロパティ」ボ タンを押下します。

| 🔋 イーサネットのプロパティ | x |
|------------------------------------|---|
| ネットワーク共有 | |
| 接続の方法: | |
| P Ethernet 1Gb 2-port 332i Adapter | |
| 構成(<u>C</u>) | |
| この接続は次の項目を使用します(Q): | |
| | |
| OK キャンセル | |

図 5.7 IP アドレスの設定(5)

「次の IP アドレスを使う」を選択して IP アドレス、サブネットマスクなど必要な情報を入力し、最後に「OK」ボタンを押下します。

| インターネット プロトコル バー | ジョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ | |
|--|------------------------|--|
| 全般 | | |
| イットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することがで きます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせ てください。 | | |
| IP アドレスを自動的に取得する(<u>Q</u>) | | |
| - • • れの IP アドレスを使う(<u>ら</u>): | | |
| IP アドレス(<u>I</u>): | 192.168.1.1 | |
| サブネット マスク(<u>U</u>): | 255 . 255 . 255 . 0 | |
| デフォルト ゲートウェイ(<u>D</u>): | · · · | |
| ○ DNS サーバーのアドレスを自動的に | 取得する(<u>B</u>) | |
| ─● 次の DNS サーバーのアドレスを使う |)(<u>E</u>): | |
| 優先 DNS サーバー(<u>P</u>): | | |
| 代替 DNS サーバー(<u>A</u>): | · · · | |
| □終了時に設定を検証する(上) | 詳細設定(<u>V</u>) | |
| | OK キャンセル | |

図 5.8 IP アドレスの設定(6)

NTP クライアントの設定

通常放送の番組管理は送出サーバの時計に依存するため、NTP クライアント を設定して常に正しい時刻に調整する必要があります。

まず最初にタスクトレイの時刻を右クリックして、ポップアップメニューから「日付 と時刻の調整」をクリックします。



図 5.9 NTP クライアントの設定(1)

| 「インダーホット時刻」ダノを衣示し、「設定の変更…」ホダノを押下しる |
|------------------------------------|
|------------------------------------|

| n. | | | 日付と時刻 | 刻 | x |
|----|-----------|------------|------------|--|----------------|
| E | 日付と時刻 | 追加の時計 | インターネット時刻 | | |
| | 'time.wir | ndows.com' | と自動的に同期するよ | うに設定されています。 | |
| 1 | 設定されて | いるスケジューノ | ルこ従って自動的に同 | 期するように設定されて | こいます。 |
| | | | | 日本 の 変 し の の の の | 更 <u>(C</u> |
| | | | | | |
| | | | ОК | キャンセル | 適用(<u>A</u>) |

図 5.10 NTP クライアントの設定(2)

NTP サーバの IP アドレスまたはホスト名を入力し、「OK」ボタンを押下します。

| af a | インターネット時刻設定 |
|-----------------|---|
| インターネット | 時刻設定を構成します: |
| ✓ インターネ サーバー | ット時刻サーバーと同期する(<u>S)</u> (g): 〜 〜 今すぐ更新(<u>U)</u> |
| 設定されてい | るスケジュールに従って自動的に同期するように設定されています。 |
| | OK キャンセル |

図 5.11 NTP クライアントの設定(3)

5.3. オプション設定(映像合成装置を使用しない場合)

映像合成装置を使用しない場合、オプション設定で映像合成装置の使用を無 効にします。

まず最初にデスクトップにある CellConfig アイコンをダブルクリックしてオプション設定ツールを起動します。



図 5.12 映像合成装置の無効化(1)

オプション設定ツールの「描画サービス」→「LM-90HD/SD」タブで「有効」の チェックを外します。

| | _ 🗆 X |
|--|----------------------|
| CLICOMIG Extended Extended | 開始 (争止 再起動 |
| ホスト名 192.168.1.1 日 オーディオ送信(緊急のみ) 初期開設定送信_ すべて再起動 初期化_ OK キャンセル | (保存 |

図 5.13 映像合成装置の無効化(2)

| □ 清効 シリアル通信 ポート ○○M1 ・・ 決定 1999 | | 南島 |
|--|--|----|
| プリセット No. (x, y)-(福. 高さ), 縮小、拡大 1 (334, 10-(1556, 544, 540, 54) 2 (384, 210-(1556, 564, 540, 30) 3 (10, 0)-(1556, 564, 540, 30) 4 (12, 210)-(1560, 1900), 38, 30) 5 (220, 180)-(1560, 900), 38, 30) 7 (0, 0)-(1660, 900), 38, 30) 8 (0, 180)-(1600, 900), 30, 30) | 周性 少座標 394長 少座標 0長 幅 1538長 高さ 864長 縮小時間 30長 7レーム 拡大時間 30長 7レーム | |
| LAN ホスト名 192.168.1.1 ロオー | ディオ送信(緊急のみ) 初期服金送信… | |

「保存」ボタンを押下して、描画サービスを再起動します。

図 5.14 映像合成装置の無効化(3)

6. トラブルシューティング

表 6.1 トラブルシューティング(1)

| 内容 | 対応 |
|--------------|--|
| ・番組が開始されない。 | ・番組管理サービスのログを確認して、番組データをイン |
| | ポートしているかどうか確認してください。 |
| | 【インポートしていない場合】 |
| | ・ネットワークの接続ご確認ください。 |
| | ・コンテンツ管理サービス上で、送出サーバの IP アドレスが |
| | 正しく設定されているかご確認ください。 |
| | ・送出サーバのファイアウォールの設定で FTP のポートが |
| | 開いているかご確認ください。 |
| | ・送出サーバの FTP の物理フォルダと、オプション設定ツー |
| | ルの「番組管理サービス」→「番組データ受信」タブの「受 |
| | 信フォルダ」が一致するかご確認ください。 |
| | ・番組管理サービス(Cell Program Management Service) |
| | が動作しているかご確認ください。 |
| | 【インポートしている場合】 |
| | ・映像合成装置との接続をご確認ください。 |
| | ・描画サービス(Cell Rendering Service)が動作しているか |
| | ご確認ください。 |
| | ・オプション設定ダイアログを起動し、「描画サービス」→ |
| | LM-90HD/SD」タフでシリアルボートが正しく設定されて |
| | いるかご確認ください。 |
| ・BGM が出力されない | ・オブション設定ダイアログを起動し、「番組管理サービス」 |
| | →「オーディオ(通常)」タフでBGMフォルタが止しいことを |
| | こ催認くたさい。 |
| | ・オーナイオファイルのフォーマットか止しいことをこ確認くに |
| | |
| | ・BGM フォルダにオーナイオファイルをコヒーしても即時に は反映されません PCM はついこいが管理サーバから号 |
| | は反映されません。DGIM はコノナノノ官理リーハから取 新の通賞番組データを受信したタイミングで再新されま |
| | おの通常番組) 一次を受信したメイミングで更利されます。 即時に反映されたい提合には、コンテンツ管理サーバ |
| | 9。即時に及びでしたい場合には、コンプシン管理サーバ |
| | |
| | 動につきましてけ「設定変更をサービスまたけアプリケー |
| | ションに反映する」を参照してください |
| | ・緊急放送の場合は BGM は出力されません 通堂放送で |
| | ご確認ください。 |
| | ・送出サーバの SDI エンベデッドオーディオとして出力され |
| | t = BGM (t LM-90HD/SD (t = v + f)) + f = C (t = m) C (|
| | BGMを本線にマルチプレクスする場合には別途機器が必 |
| | 車です |

| ų. | 表 | 6.2 | トラブルシューティング(2 | 2) |
|----|---|-----|---------------|----|
|----|---|-----|---------------|----|

| 内容 | 対応 |
|--|---|
| ・シングルが出力されない | ・LM-90HD/SDがLANに接続されているかご確認ください。 ・オプション設定ダイアログを起動し、「番組管理サービス」 「オーディオ(緊急)」タブを開き、投稿した緊急放送のレベルに対してオーディオファイルが登録されているかご確認ください。 ・オーディオファイルのフォーマットが正しいことをご確認ください。 ・オーディオファイルのフォーマットが正しいことをご確認ください(「表 3.1 オーディオファイルフォーマット」参照)。 ・オプション設定ダイアログを起動し、「描画サービス」→「LM-90HD/SD」タブでホスト名が正しいかどうか、また「オーディオ送信」がチェックされているかご確認ください。 ・オプション設定ダイアログでジングルを設定した後、番組管理サービスを再起動する必要があります。番組管理サービスの再起動につきましては「設定変更をサービスまたはアプリケーションに反映する」を参照してください。 ・通常放送の場合はジングルは出力されません。緊急放送でご確認ください。 |
| ・ジングルの設定をしていないの に LM-90HD/SD からジングル が出力される | ・LM-90HD/SD にオーディオファイルが保存された状態でジ ングルの送信を無効にすると、LM-90HD/SD の機能に よってジングルが出力されてしまいます。このような場合 には LM-90HD/SD に FTP 接続し、.wav 拡張子が付いた ファイルを削除します。 |
| ・テロップのスクロールがフレー ム落ちする | ・送出サーバ上で負荷が大きい処理を行っていないかご確認ください。 |
| ・コンテンツ管理サーバで L 字レ イアウトを作成したが、送出映 像が L 字にならない | ・送出サーバとLM-90HD/SD がRS-422 で接続されている ことをご確認ください。 ・コンテンツ管理サーバのレイアウト管理で任意サイズの L 字レイアウトを作成した場合、L 字送出できない場合があ ります。これはLM-90HD/SD で事前にL字サイズの設定 を行う必要があるためです。このような場合には「7 お問い 合わせ」までご相談ください。 |

7. お問い合わせ

本ソフトウエアについてのお問い合わせ、ご質問等につきましては、お手数で すが下記までご連絡ください。

株式会社コスミックエンジニアリング

〒191-0065 東京都日野市旭が丘 3-2-11 TEL: 042-586-2933(代表) FAX: 042-584-0314 E-mail: c1000@cosmic-eng.co.jp

A. ハードウエア仕様

| CPU | Intel Xeon E3-1241v3 3.50GHz | | | |
|-----------|-----------------------------------|--|--|--|
| HDD | SATA500GB(RAID1) | | | |
| メモリ | 8GB | | | |
| OS | Windows Server 2012 R2 Foundation | | | |
| HD-SDI 出力 | 2 系統(FILL/KEY) | | | |
| 同期信号 | BB / 3 値 SYNC | | | |
| その他 | RS-422 | | | |

表 A.1 送出サーバのハードウエア仕様

| 送出サーバ | Ň | | LM-90HD/SD |) | |
|-----------------|-----|------|-----------------|-----|------|
| (D-sub 9pin メス) | | | (D-sub 9pin オス) | | |
| ピン番号 | I/O | 信号 | ピン番号 | I/O | 信号 |
| 1 | Out | TxD- | 8 | In | RxD- |
| 2 | Out | TxD+ | 3 | In | RxD+ |
| 5 | - | GND | 4または6 | - | GND |
| 6 | In | RxD- | 2 | Out | TxD- |
| 7 | In | RxD+ | 7 | Out | TxD+ |

表 B.1 RS-422 ケーブルのピンアサイン

C. LM-90HD/SD 初期設定

LM-90HD/SD は CELL-FS システム用に初期設定して出荷されます。設定変 更したメニュー階層とその値を表 C.1 に示します。また、表 C.1 のうちプリセット ごとに値が異なるものについて表 C.2 に示します。

| 項目 | 項目 | | 値 | | | |
|-------------|------------|------------|--------------|--|--|--|
| MEN | MENU | | | | | |
| Р | PRESET | | | | | |
| | 1~10 | | | | | |
| | SIZE | | | | | |
| | L | NE | | | | |
| | | XY | 表 C.2 (1) 参照 | | | |
| | POSITION | | | | | |
| | L | NE | | | | |
| | | Х | 表 C.2 (2) 参照 | | | |
| | | Υ | 表 C.2 (3) 参照 | | | |
| | TRIMMING | | | | | |
| | LI | LINE | | | | |
| | | XY | 表 C.2 (4) 参照 | | | |
| | AUDIO | | | | | |
| | F | ILE ID | 表 C.2 (5) 参照 | | | |
| | BACKGROUND | | | | | |
| | B | ACKGROUND1 | | | | |
| | | INPUT1 | BG2 | | | |
| D <u>SK</u> | | | | | | |
| MODE | | | EXT SUPER | | | |

表 C.1 LM-90HD/SD の初期設定

表 C.2 LM-90HD/SD のプリセットに関する初期設定

| PRESET | (1)SIZE | (2)X | (3)Y | (4)TRIM | (5)AUDIO |
|--------|---------|------|------|---------|----------|
| 1 | 81 | 192 | 110 | 99 | 1 |
| 2 | 81 | 192 | -110 | 99 | 2 |
| 3 | 81 | -192 | 110 | 99 | 3 |
| 4 | 81 | -192 | -110 | 99 | 4 |
| 5 | 84 | 164 | 92 | 99 | 5 |
| 6 | 84 | 164 | -92 | 99 | 6 |
| 7 | 84 | -164 | 92 | 99 | 7 |
| 8 | 84 | -164 | -92 | 99 | 8 |
| 9 | 100 | 0 | 0 | 100 | 9 |
| 10 | 100 | 0 | 0 | 100 | 10 |

93-10028-01

株式会社コスミックエンジニアリング

〒191-0065 東京都日野市旭が丘 3-2-11 TEL : 042-586-2933 FAX : 042-584-0314 URL : http://www.cosmic-eng.co.jp/

Copyright© 2013 Cosmic Engineering Inc., All rights reserved.